

国内におけるランピースキン病発生に伴う 防疫対策の徹底

11月11日までに、福岡県3農場及び熊本県1農場でランピースキン病(LSD)の発生が確認されているため、防疫対策の徹底をお願いいたします。

LSDは、極めて感染力の強い牛のウイルス病です。
蚊などの昆虫を介した機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。
皮膚病変、発熱、食欲不振、乳量低下などを引き起こします。

【LSDの防疫対策】

- ①定期的な観察及び早期隔離・早期連絡
- ②牛を農場外に移動する前の健康状態確認
- ③殺虫剤の散布等による害虫防除
- ④他畜産関係施設の器具等を原則持ち込まない
- ⑤注射針、人工授精用器具その他体液(生乳除く)が付着する物品は、1頭ごとに確実に交換または消毒



静岡県東部家畜保健衛生所(東部家畜保健衛生推進協議会)

TEL 055-978-3131/FAX 055-978-9642

E-mail; tounou-kaho@pref.shizuoka.lg.jp

☎ 夜間・休日でも10回以上コールで、東部総合庁舎の守衛室に繋がるので、農場名と通報内容をお伝えください。